

WOLF

「その他検査 FD 取込」仕様

第 3 版 2008 年 4 月 17 日

Medical Domain Inc.

・変更履歴

2006 年 9 月 8 日 初版

2007 年 7 月 2 日 第 2 版

・ WOLF ver.2.0.0 において検査結果からの新規患者登録を追加。

2008 年 4 月 17 日 第 3 版

・ 提供元を ORCA サポートセンタからメディカルドメインに変更。

「その他検査 FD 取込」 検査取込仕様

1. 「その他検査 FD 取込」 検査取込詳細

WOLF フォーマットの汎用検査取込機能として利用可能な「その他検査 FD 取込」の公開仕様となります。

「その他検査 FD 取込」は WOLF Ver.1.0.0 正式版から利用可能です。

取込の操作方法は操作マニュアルを参照してください。

検査取込の検証は個々で行ってください、要望等は有償での対応を検討いたします。

連絡先メールアドレス：wolf-support@medical-domain.com

検査会社名(識別名)について

- ・ WOLF で設定が必要になりますので、利用ユーザーへの通知が必要となります。
設定内容については 2. 「その他検査 FD 取込」 CSV ファイルフィールド仕様 および、
3. 検査会社名(識別名)の設定について を参照してください。
「検査会社名(識別名)」は任意で設定可能ですが、変更できませんので御注意ください。

生活習慣病療養計画書について

- ・ 生活習慣病療養計画書の作成時、参照する検査コードが必要になります、
ここで参照するコードは利用ユーザーへの通知が必要となります。
コードの設定内容については、4. 生活習慣病療養計画書について を参照ください。

患者マスタとの関連チェック

取込データと患者マスタの関連チェックは、[患者 ID]、[カルテ番号]、[カナ氏名]とで行います。

- ・ [患者 ID]、[カルテ番号]は WOLF 患者マスタの[カルテ番号]と比較される
- ・ [患者 ID]、[カルテ番号]両方に値がセットされていた場合、患者 ID を優先的に比較する。
- ・ [カナ氏名]は WOLF 患者マスタの[患者名(カナ)]と比較される。
- ・ [カルテ番号]、[患者名(カナ)]両方が一致する場合に取り込まれる。

整合性チェック

既に同一の[受付日]および[依頼 ID]の検査が登録されていた場合、過去の検査は削除し、新たに追加します。
過去に同一の[受付日]および[依頼 ID]が存在しない場合、そのまま新規に追加されます。

エラーとなる検査結果について

基本的に必須項目のない検査結果は取込エラーが発生します。

- ・ ファイル全体が取り込み不可エラーとなる場合
(1) [依頼 ID]が存在しない検査データが含まれていた場合。

エラーのあったファイルのすべてのレコードのデータ取り込みはおこなえません。
ユーザーは検査結果ファイルの再入手が必要です。

- ・ [依頼 ID]単位で取り込み不可エラーとなる場合
(1) [検査会社名][受付日][検査項目コード]が存在しない。
(2) 同一の属性情報([検査受付日]+[検査受付番号])で[検査項目コード]が重複する場合。

エラーのあったレコードに含まれる「依頼 ID」と同一の「依頼 ID」を含む
すべてのレコードのデータ取り込みは行えません。
ユーザーはエラーのあったすべての「依頼 ID」のデータの再入手が必要です。

- ・ 患者マスタエラーとなる場合
(1) 「カナ氏名」が空、または WOLF の患者マスタと一致しない場合。
(2) 「患者 ID」、「カルテ番号」が空、または WOLF の患者マスタと一致しない場合。

ユーザーは WOLF のエラー修正機能による取り込みが可能です。

時系列表示について

- ・ 同一の検査項目コードは時系列表示時に同一検査として表示されます。

検査会社の複数利用について

- ・「エスアールエルグループ」、「三菱化学メディエンスグループ」、「その他の検査」の内、一種のみが利用可能です。
- ・「その他の検査」につきましても WOLF 上で利用可能な検査会社は一家のみです。
- ・複数の検査会社の検査結果を WOLF へ登録された場合、時系列表示に問題が起こる可能性があります。

2. 検査結果からの新規患者登録 (WOLF Ver.2.0.0 以降)

WOLF ver.2.0.0 検査結果からの新規患者登録機能の追加に伴い、「その他検査 FD 取込」仕様 第 2 版でフィールド No.7 生年月日、フィールド No.8 性別の仕様が変更されました。

なお、従来仕様もそのまま継続しての利用が可能です。

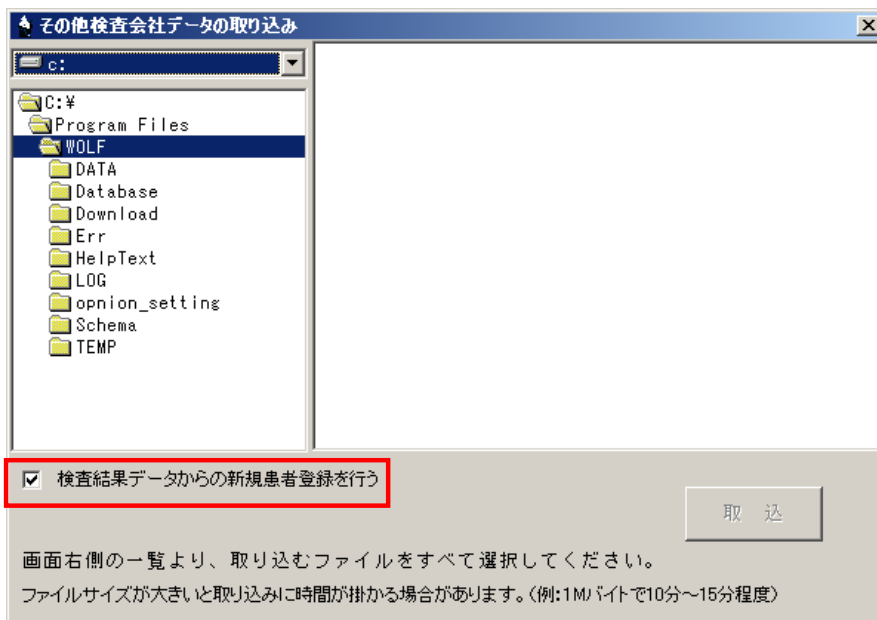
詳細は後述の「その他検査 FD 取込」CSV ファイルフィールド仕様を参照してください。

検査結果取込時に「検査結果データからの新規患者登録を行う」にチェックを付ける場合

- (1) 「その他検査 FD 取込」仕様 第 2 版に従う必要があります。
- (2) 検査結果ファイル内の WOLF 未登録患者は自動で新規患者登録されます。
- (3) フィールド No.7 生年月日、フィールド No.8 性別が空または一致しない検査項目は、取込エラーになります。
- (4) 患者登録時「カルテ番号」「患者カナ氏名」「生年月日」「性別」が基本情報として登録され、患者登録と同時に検査結果も取り込まれます。

検査結果取込時に「検査結果データからの新規患者登録を行う」にチェックを付けない場合

- (1) 従来までの CSV 仕様 (フィールド No.7、フィールド No.8 が空) をご利用の場合に選択します。
- (2) 新規患者登録はおこなわれず、従来の検査結果取込のみがおこなわれます。



3. 「その他検査 FD 取込」 CSV ファイルフィールド仕様

仕様作成協力：三菱化学メディエンス(旧三菱化学ビーシーエル)様

ファイル定義

ファイル形式：CSV 形式(カンマ区切り)ファイル Shift-JIS 形式 すべてダブルクォーテーションで括る

ファイル名：XXXyyyymmddhhmmss.txt(半角)

XXX は任意の半角英字 3 文字(大文字のみ)とし、必ず第 1 フィールドと同値を設定する。(1)

yyyymmddhhmmss は作成日時

レコードの構成：検査 1 項目あたり 1 レコードを出力し、属性情報は全て同じ内容を記載する。

フィールド順

	No.	項目	タイプ	PK	必須	最大 byte (2)	備考
属性情報	1	検査会社名(識別名)	半角			3	(1) "MBC"以外
	2	受付日(検査日)	半角			10	yyyymmdd 形式
	3	依頼 ID	半角			10	
	4	患者ID	半角			10	WOLF:結果取り込み時の照合に使用(3)
	5	カルテ番号	半角			10	
	6	カナ氏名	半角			20	WOLF:結果取り込み時の照合に使用 半角カナのみ。(4)
	7	生年月日	半角		11	8	患者登録機能利用時のみ必須 yyyymmdd 形式 (12)
	8	性別	半角		11	1	患者登録機能利用時のみ必須 1:男 / 2:女 (12)
	9	透析区分	半角			11	1:透析前 / 2:透析後
	10	食事区分	混合			18	"食前"等意味がわかる文字列へ加工して報告(MAX18byte)
	11	妊娠週数	混合			18	"妊娠 週"等意味がわかる文字列へ加工して報告(MAX18byte)
	12	採取日	半角			10	yyyymmdd
	13	入外区分	半角			11	1:入院 / 2:外来
	14	結果フリーコメント	混合			200	(5)
項目情報	15	検査項目コード	半角			19	
	16	検査項目名称	混合			30	表示用検査項目名称
	17	項目区分	半角			11	1:単項目 / 2:分画親項目 / 3:分画子項目
	18	MEDIS 分析物コード	半角			5	ソートのみに利用する(6)
	19	材料コード	半角			3	ソートのみに利用する(6)
	20	材料名	混合			---	WOLF:未使用項目
	21	負荷情報	半角			3	ソートのみに利用する(6)
	22	再検区分	半角			10	10:初回検査 / 1:再検中 / 2:再検済み / 3:再々検済み (7)
	23	異常値区分	半角			1H	H:高値 / L:低値 / !:異常値 (8)
	24	結果値形態	半角			1E	E:以下 / L:未満 / U:以上 (9)
	25	検査結果	混合			14	(9)
	26	単位	混合			14	
	27	表示基準値	混合			16	
	28	正常値区分	半角			1-	-:範囲 / E:以下 / L:未満 / U:以上 (10)
	29	正常値 1	半角			8	数値以外はセットしない (10)
	30	正常値 2	半角			8	数値以外はセットしない (10)
	31	結果補助コメント 1 コード	半角			---	WOLF:未使用
	32	結果補助コメント 1 内容	混合			50	(7)
33	結果補助コメント 2 コード	半角			---	WOLF:未使用	
34	結果補助コメント 2 内容	混合			50	(7)	
35	基準値コメントコード	半角			---	WOLF:未使用	
36	基準値コメント内容	混合			50	(7)	

MDI-WOLF-SPEC-FD-003

- 1: 検査会社名(識別名)は任意の大文字の半角英字 3 文字("MBC"以外)をセットする。
ファイル名の先頭 3 文字と第 1 フィールドは必ず同じ値を設定する。
検査会社名(識別名)の変更は不可。
検査会社名(識別名)は検査を利用するユーザーの WOLF へ設定が必要となる。
- 2: 最大 byte を超える場合は切り捨てて取り込まれる。
- 3: WOLF 患者マスタの[カルテ番号]と同じ値を[患者 ID]と[カルテ番号]へ排他的にセットする。
取込時、両方に値がセットされていた場合、患者 ID を優先的に比較する。
[患者 ID]、[カルテ番号]が空の場合、または WOLF の患者マスタと一致しない場合は、患者マスタエラーとなる。
- 4: WOLF 患者マスタの[患者名(カナ)]と同じ値を[カナ氏名]へセットする。
取込時、値が空の場合、または WOLF の患者マスタと一致しない場合は、患者マスタエラーとなる。
- 5: 検体コメント(乳び・溶血など)を表す文字列やフリーコメントをセットする。
- 6: 『MEDIS 分析物コード(5 桁) + 材料コード(3 桁) + 負荷情報(3 桁)』を表示順(ソート)とする。
時系列(全ての検査)、単回 両方の表示時のソート順に利用する、ソート以外では利用しない。
表示順が異なる場合、同一の[検査項目コード]であっても別検査として表示される。
- 7: WOLF では最大 2 つのコメントまで取り込む。優先順位は「結果補助コメント 1」、「結果補助コメント 2」、「基準値コメント」、「再検区分」。
- 8: H: 高値 / L: 低値 / !: 定性項目の(+)等 H/L で表現不可能な異常値。
WOLF ではセットした文字をそのまま画面へ表示する。
- 9: [検査結果]へは、不等号などの記号を含めない。
検査結果に不等号などを含む場合、[検査結果]へは数値をセットし、
検査結果が ~ 以下の場合、[結果値形態]へ"E"をセットする。
検査結果が ~ 未満の場合、[結果値形態]へ"L"をセットする。
検査結果が ~ 以上の場合、[結果値形態]へ"U"をセットする。
結果に数値以外の値を入れた場合、レーダー、トレンド表示は行えなくなります。
- 10: 正常値(基準値)が数値以外の場合は何もセットしない。レーダー、トレンド表示は数値項目のみ対応。
 - ・ [正常値区分]が"- "の場合、[正常値 1] 以上 かつ [正常値 2] 以下 の意味。
[正常値 1]を下限としてセットする。
[正常値 2]を上限としてセットする。
 - ・ [正常値区分]が"E"の場合、[正常値 1] 以下 の意味。
[正常値 1]を上限値としてセットする。
 - ・ [正常値区分]が"L"の場合、[正常値 1] 未満 の意味。
「正常値 1」を上限値としてセットする。
 - ・ [正常値区分]が"U"の場合、[正常値 1] 以上 の意味。
「正常値 1」を下限値としてセットする。
- 11: 検査結果からの患者登録機能を利用する場合は必須項目。(WOLF Ver.2.0.0以降)
患者取込機能を利用しない場合は従来の空項目のままで検査取込は可能。
- 12: 検査結果からの患者登録機能を利用時、内容が WOLF の患者マスタと一致しない場合、患者マスタエラーとなる。(WOLF Ver.2.0.0以降)

4. 検査会社名(識別名)の設定について

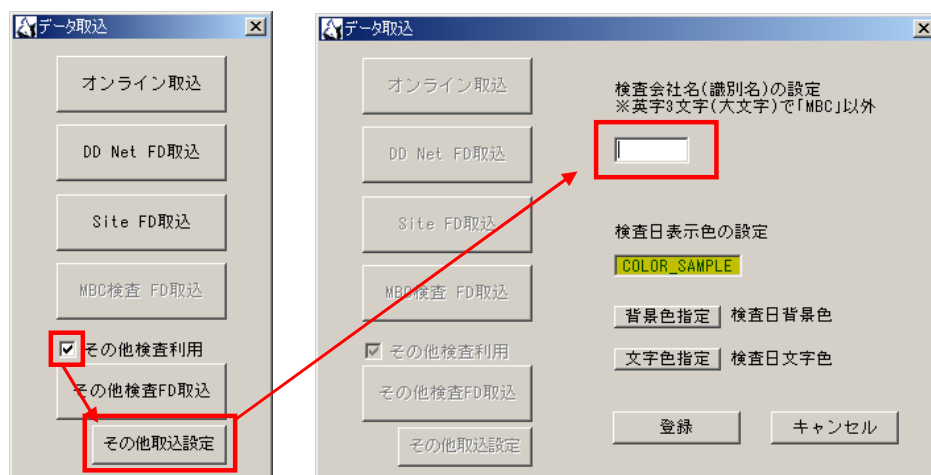
検査会社名(識別名)は任意で設定可能ですが、変更はできませんので御注意ください。
変更された場合、時系列表示に問題が起こる可能性があります。

設定値につきましては、各検査会社が利用ユーザーへの通知をお願いいたします。

設定方法

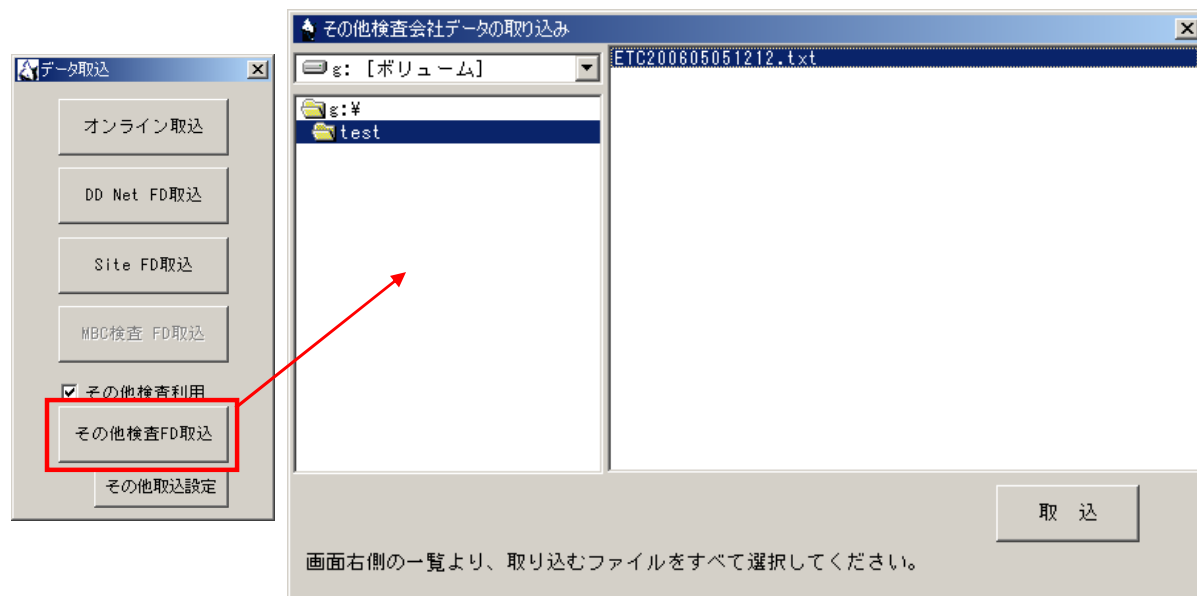
データ取込の「その他検査利用」チェックボックスにチェックを付けます。

「その他取込設定」ボタンが有効になりますのでボタンをクリックし、設定画面を表示します。



検査日表示色設定では、検査結果表示時の検査日の表示色を変更することができます。
表示色も任意で設定可能です。

取り込む場合は、「データ取込」ダイアログの「その他検査 FD 取込」ボタンをクリックします。



「その他検査会社データの取り込み」ウィンドウが表示されますので、
検査データの入っているドライブ、フォルダを指定します。
ここでは検査会社名(識別名)に設定したファイルのみが表示されます。
対象となるファイル(複数ある場合は、複数可能)を選択し、
「取込」ボタンをクリックしますと、データ取り込みを開始します。

5. 生活習慣病療養計画書について

WOLFでは生活習慣病療養計画書の文書作成時、既に特定の検査が登録済みの場合、検査結果を文書へ複写する機能があります。本機能を利用するには、該当する検査コードを利用する検査会社に従い設定しておく必要があります。

設定するコードにつきましては、各検査会社が利用ユーザーへの通知をお願いいたします。

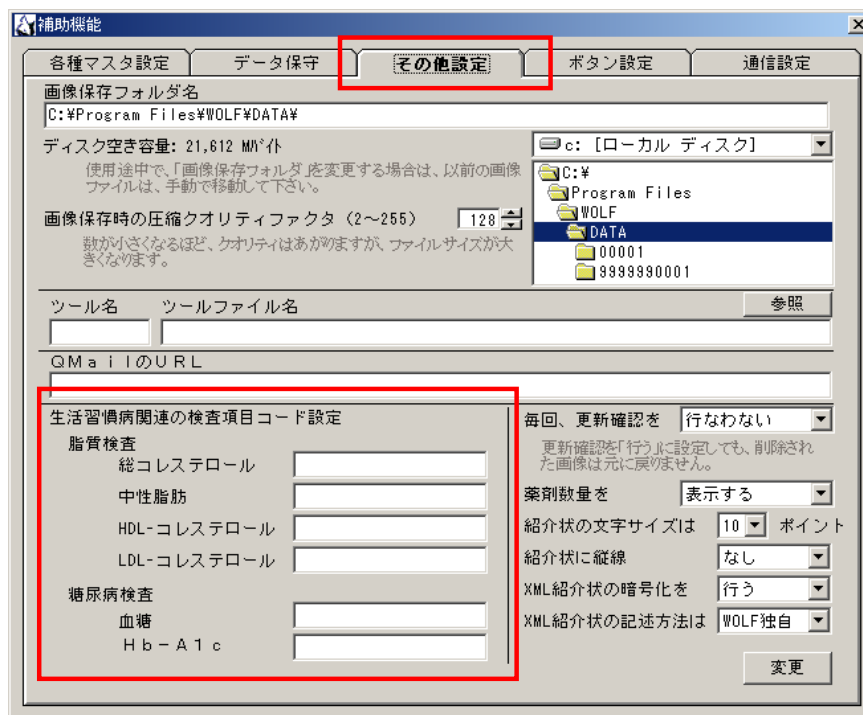
生活習慣病療養計画書で参照される検査については以下の6種となります。

総コレステロール
 中性脂肪
 HDL-コレステロール
 LDL-コレステロール
 血糖
 Hb-A1c

設定方法

「補助機能」の「その他設定」タブを開きます。

該当する[検査項目コード]の先頭に CSV ファイルフィールド仕様 第1フィールドの[検査会社名(識別名)]と[-](半角ハイフン)を付加し設定します。



例として [検査会社名(識別名)]が「ETC」、総コレステロールの[検査項目コード]が「00039000200」の場合、以下の様にコードを設定します。

総コレステロールの設定コード 「ETC-00039000200」